

## 令和7年度入学式を行いました

令和7年4月9日(水)入学式が行われました。  
新入生は保護者や来賓の皆さま、在校生と教職員に見守られるなか、少し緊張した面持ちで会場に入場し、校長先生より新入生の入学が許可されました。



その後、生徒会による対面式が行われ、生徒会長、各科代表が歓迎の言葉を述べ、花束を手渡しました。

入学式後のHRでは、担任から高校生活について説明を受けたり、科の先生の紹介を聞いたりして、いよいよ始まる高校生活に期待をふくらませていました。また入寮式も行われ、新たに寮生活を始める生徒たちが迎え入れられました。

新入生のみなさんが、高校生活に早く慣れて、学びや部活動に取り組んでくれることを期待しています。



令和7年度 入学式



入寮式の様子  
2・3年生の寮生や舎監も出席

# 式 辞

やわらかな 春の光が降り注ぎ、塩冶が丘の 桜の花びらが 舞う本日、工雲会会長 多々納 強人（たたのつよと）様学校運営協議会委員 島 充（しまみつる）様 PTA会長 布野 雅士（ふのまさし）様、をご来賓としてお迎えし、令和七年度 島根県立出雲工業高等学校入学式を挙行できますことは学校として大きな喜びであり、心より厚く感謝申し上げます。

ただいま 入学を許可しました142名の新入生の皆さん、ご入学 おめでとうございます。本校の在校生、教職員一同、皆さんを心から歓迎いたします。ご家族の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。これまで お子様を育ててこられました皆様にとって、本日のお子様の晴れ姿に、感慨もひとしおのことと思います。私ども出雲工業高校教職員は、課せられた責任の重さを感じながら、気持ちを引き締め、お子様の大いなる成長を目指して 教育活動に取り組んでまいります。どうか、本校の教育活動にご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

本校は、1944年（昭和19）年1月、島根県立今市工業学校として創立した歴史と伝統のある学校です。今年で創立81周年を迎え、卒業生は1万6千200名を超え、ふるさと出雲はもとより 全国の「ものづくり産業」を支え、多方面で活躍されています。新入生の皆さんには、これまで諸先輩が築いてきた「ものづくりへの誇りと責任」、「穏やかで節度あるふるまい」をしっかりと受け継ぎ、ふるさと出雲や 日本国のさらなる発展に貢献するために 自らを高めていただきたいと思います。そのために大切なことについて、お話させていただきます。

本校の教育活動では、育成したい8つの力があります。学び続ける力、表現する力、技を極める力、協働する力、貢献する力、問題解決力、自らを律する力、チャレンジ精神 の8つになります。最後にあげた「チャレンジ精神」は、この中でも最も伸ばしていただきたいと思います。チャレンジ精神、つまり挑戦する気持ち・挑んでいく姿勢 のことです。新入生の皆さんは、これまで幾つもの挑戦を経験してきたことと思います。

例えば、学習活動や部活動では、仲間やライバル、指導者に挑戦 挑んだ経験があります。また、自らの限界や記録、検定合格や高校入試の合格にも挑戦 挑んだ経験がありますね。

一方、プロスポーツ選手や日本代表選手の挑戦する姿は、メディアを通じて頻繁に視聴でき、その度に感動し、興奮した経験は皆さんにもあることでしょう。人間としての成長や自己実現の道は一生の課題です。私たち大人も 命ある限りこの課題に向き合っていきます。最近所の私は、残りの人生をどう生きるべきか、子どもや孫などの家族とどう関わっていくべきか、など考えることがあります。成長や自己実現していくためには、常に謙虚に自らを省み、未熟なところに思いをいたし、より豊かなレベルを目指していかなる困難にもめげず、日々向上の道を歩む必要があります。そのために、皆さんに求めたいことは、「チャレンジ精神」

「自らの限界に挑み続ける チャレンジし続けること」、

「自らの限界はここまでだ と簡単に線を引かないこと」、

「自らの限界はこんなものではないはずと粘ること」

が「チャレンジ精神」だと思います。そうすることで人間の成長は継続します。これが本当の成長であると考えています。高校生活の中で、皆さんが挑戦する場面、成長する機会はたくさんあります。学習活動や探究活動・部活動はもとより、たくさんの方との出会いや協働作業において、挑戦の機会を見逃さず、挑戦の姿勢を貫いてください。

出雲工業高校は、皆さんの挑戦を応援し、可能性を広げ、未来の出雲や日本国を支える人材育成を目指し、生徒、教職員、地域が一丸となって教育活動に取り組んでいます。

本日からの本校で過ごす3年間は、皆さんの人生において 大変大きな意味をもつ時期になることは言うまでもありません。新入生142名の皆さんの成長と、大いなる「夢」の実現に向けて、教職員が一丸となって支援することをここに お誓い申し上げ式辞といたします。

令和七年四月九日

島根県立出雲工業高等学校長 高橋 実